

「表現し伝える場をつくる」

校長 石田 雄介

爽やかで心地よい風が吹く秋になりました。

校長室は音楽室に近いので、最近では鍵盤ハーモニカやリコーダー、鉄琴や木琴など様々な音が聞こえてきます。学習発表会に向けてどの学年の子どもたちも熱心に練習をしていることが分かります。最初のうちはテンポもゆっくりで、間違えたり止まったりが多かったようですが、段々と音の響きがきれいになり、音の重なりも美しく感じられるようになってきました。子どもたちが、学び身に付けていく力は、やはり大したものです。ソーシャルディスタンスを確保しての練習には工夫が必要ですが、どの学年も子どもたちと担任と一緒に熱心なレッスンを続け、準備しているところです。

さて、今年度10月の「学習発表会」は、いずれの学年も音楽を中心とし、学年の学習に応じた発表を行います。5月の運動会と双璧をなす秋の一大イベントです。

この行事を、コロナ禍であっても、鑑賞の仕方を工夫し聴き合う形で実施したい。保護者の皆様もお招きし楽しみたい。学習発表会も少しずつ、より望ましい実施方法へと変えていきたい…と考えています。それは学習発表会を、子どもたちに「**考え表現する力**」を発揮させる好機（表現の場）としたいためです。

そのような考えから、今年度は下記のように実施する予定です。

1. **鑑賞者**を入れることで、**相手意識**を高めた発表となるようにする。
2. 子どもたちは、**一つ上の学年の鑑賞**をし、次年度のイメージを持てるようにする。
3. 保護者様に、**学年ごとに入れ替わり**をお願いし、密を減らして鑑賞いただく。

考え表現する力は、相手（あるいは目的）を強く意識することで高まります。下の学年に聴いてもらおう。家の人に聴いてもらおう。私たちの思いを伝えよう。10分という発表時間の中で、子どもたちは思いをぎゅっと凝縮し、仲間と気持ちを合わせて本番の発表に臨みます。果たしてどのような思いが表現できるか…今から楽しみです。心地よい緊張感の中、精一杯表現してくれるよう願っています。

* * *

先日は、保護者ボランティアの皆様のご協力をいただき、縦割りなかよし班で行動する「全校歩き遠足」を実施しました。普段歩かない長い距離を歩く体験を通して、最後までやりぬく力を育てること、リーダーシップとフォロワーシップを育み、思いやりの気持ちを育てることをねらった行事です。対話し協働する力の育成です。

子どもたちは、どのグループも励まし合って、全行程9.6kmを最後まで歩き通すことができました。公園では、楽しみに持ってきたお弁当を広げてにこにこ口いっぱいにはお張る子どもたちの笑顔に、達成感と充実感があふれていました。

私たちはこの秋も、毎日の授業や行事を通して、グランドデザインに表した「**4つの未来を生きる力**」を子どもたちに身に付けさせることができるよう努めて参ります。